

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目： 言語文化

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 數研出版 言語文化

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚

をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現

する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
	<p>説話／児のそら寝（宇治拾遺物語）</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語の大切さを理解している。</p>	<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p> <p>・教科書、プリント、ICTの活用</p>			○	<p>【知識・技能】</p> <p>歴史的仮名遣いについて十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで古語を学習することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>主語の変わり目を正確にとらえ、児が寝たふりをした理由と僧たちの心情について根拠をもって理解できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自ら進んで粘り強く根拠立てて内容や心情の説明に取り組んでいる。</p>	◎	○	○	4
	<p>随筆（一）／つれづれなるままに・神無月のころ（徒然草）</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語の大切さを理解している。</p>	<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。</p> <p>・教科書、プリント、ICTの活用</p>			○	<p>【知識・技能】</p> <p>助動詞について十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで学習することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>序段と第十一段を正確に現代語訳し、文章の構成について理解し、第三者に伝わるかたちで整理できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>主体性をもち考えを整理しながら粘り強く読解に取り組んでいる。</p>	◎	○	○	4
	<p>歌物語／芥川（伊勢物語）</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語の大切さを理解している。</p>	<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・粘り強く第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p> <p>・教科書、プリント、ICTの活用</p>		○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>第二段落と第一段落の関係性を捉え、第二段落があることの効果を理解できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>主体性をもって段落構成を分析し、他者と協調しながら粘り強く話し合いができている。</p>	○	○	○	4
	<p>定期考査</p>						○	○		1
1学	<p>物語／なよ竹のかぐや姫（竹取物語）</p>	<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p>			○	<p>【知識・技能】</p> <p>辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。</p>	◎	○	○	4

期	随筆(二)／春はあけぼの(枕草子) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・句読点の違いによる解釈の差異について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○	○	【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 教科書本文を正確に通釈したうえで、句読点の配置によって文意が変わることを理解し、異なる解釈の可能性について明確に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって周囲と協調しながら粘り強く話し合いに取り組んでいる。	○	○	○	4	
	和歌／万葉集 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○	○	【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら和歌を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 和歌修辞を十分理解し、それぞれの歌に込められた心情や主題について明確に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで興味を持ちながら粘り強く和歌解釈ができている。	○	○	○	4	
	定期考査					○	○		1	
	日記文学／門出(土佐日記) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成を踏まえて、内容を構成することができる。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	○		【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 本文中に見られる古典常識について現代の名残とともに深く理解し、本文の読解に役立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって周囲と協調しながら粘り強く話し合いに取り組んでいる。	◎	○	○	4	
	軍記物語／祇園精舎(平家物語) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 和漢混交文の表現の特徴を正確に指摘し、その効果を説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって表現を分析し、他者にわかりやすく説明ができている。	◎	○	○	4	
	俳諧紀行／序・平泉(おくのほそ道) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・改作前後の句について粘り強く比較し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 本文中の句について正確に解釈したうえで、改作前の初案との内容の差をわかりやすく説明し、改作の動機を推測できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって両句の違いを分析し、他者と協調しながら話し合いができている。	◎	○	○	4	

[illegible]

